

履修関係

(教育委員：高玉先生、水戸先生)

修了要件

30単位取得

&

修論審査パス

修了所要単位の内訳

学修要覧p.21

必修科目:

- 大学院輪講 (p.50): **4単位**
- 大学院技術英語 (p.50): **2単位**

→残り24単位

ただし履修の仕方に制約あり

残り24単位の内訳

- 大学院基礎教育科目 (p.49の表) から**2単位**以上
(ex. 大学院総合コミュニケーション科学 (2単位))
- 大学院産学連携科目 (p.50の表) から**2単位**以上
(ex. 大学院国際プロジェクト (2単位))
- 大学院専門教育科目 (p.52-53) の内
 - 専門科目I: **10単位**以上
(うち**4単位**は大学院実践演習が必修なので注意)
 - 専門科目II: **8単位**以上

残り2単位は上記のどこからとってもよい

その他

- 単位は早めに取りましょう。修士1年中に講義関係単位を揃えるのが典型的です。
- 学部から進学した学生は、先行履修の単位認定手続き(5月中)を忘れずに(p.28⑤)
博士後期課程のための博士前期課程での先行履修もあります(p.29⑥)
- 他の履修に関するルール(他専攻履修, 他大学履修等)にも目を通して下さい(p.27-28)
- 受講する授業の内容については指導教員の承諾を得る
(授業が多すぎないか/少なすぎないか, 研究に必要な科目を受けているか)

【重要】

- **令和2年度の大学院国際プロジェクトについて**
- 今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて、実施がかなり難しく、中止となる可能性がきわめて高いので、履修科目の検討は見送るようになして下さい。